

[illegible][illegible]

戰 役 録
 狀の觀察 瀨川の原野に對陣以來緊
 張をつら廿六日沙阿賀陣中なる我左衛
 門與來り來りたるは敵の全圖とし、最も
 のる動作として有做すべし、而も本領師
 匠の運轉を以て我に當る要領を占領す
 如きは、敵は終に取つて、頗る有利に傾
 け、我は敗れ、瀨川の來者と共に其金
 子中絶したるのみならず早くも浮足
 べき状態に落ちんとす、故の軍法なる者逃
 げん、生命のあらん間に逃げ且つ觀察せよ
 面して敵の斷ねくゝなる呼吸を續げよ、爾
 の祖父の死せし如く、自ら正義の判決の降
 らん口、神罰は降られて爾は當に死すべし
 なり
 郵便貯金
 一思ひ立つ日は吉日也
 善は急げ
 同

に限り特別拂戻として手振料を要せず電報往復にて金高の御願なく貯金の拂戻を爲す特別方法と致くするものとすべし

郵便貯金の利子

郵便貯金利子の割合は一ヶ年五分四厘にして毎年三月三十一日を以て利子を元金に繰込み其後は利子を利子を生ずるにあらずんばなり郵便貯金利子の積算表(年四分八厘)郵便貯金利子積算表(年四分八厘)

生命にかけたひで慮なく打撃す一金剛杖を取て立上る。山一ツア他が逃るに依て追駈て打玉へる。重太郎追駈欠け打んとなす。山伏がまゐる。重太郎追駈欠け打んとなす。に彼の山伏の姿は黒くして玉の如く打つ。杖もまへぎののはかり如何しても打つを脱逃せま。千百度目影の大樹を廻りま。女家婦に勞れて夫れに仕れ。重一今日。のるし玉へ身体わたのでく倒れ手は倒る。のるし玉へ身体わたのでく倒れ手は倒る。

[illegible]

(其の二)

公債證書の購入保管 以上述べたる方法に依り購入したる貯金銀五千萬圓以上となれば其時より公債證書の購入保管を請ふすることを得るなり此點を以ては政府は預け人の希望に依りて軍事、警邏又は大日本銀行分付の各公債證書の何れにて其の相換へて購入し其代金は預け人の貯金より支拂ひ且其公債證書は政府に於て大切に保管し其利金は政府に歸せざるを要するに預け人の郵便貯金に歸入し之を要する又た公債證書は預人の請求に依り何時にて其の下流を爲すべし

郵便貯金の拂戻 郵便貯金預け人は何れの

[illegible]

—

[illegible]

曰く黒旗軍附近に補はれたる浮城
 以上によれば大体の形勢不利として退却の
 ことと待ち居たるに團長始め一命
 奪せ我先にこと逃却したれば正直
 に結果速に捕虜となりたこと
 依りて七卒の士氣衰ひ戦争に厭
 るに出現せざるにせよ指揮官の命令
 を徹底せざる軍勢に在ては幾干優勢あり
 戦勝は度々敗北に轉るを免れざるべ
 然れども軍部へ戰勝の報告を請ふに
 戦勝の事實を報告せしむる所は到底悲觀的にして
 は本國の改進黨論のため軍部にも改革
 の要求を爲すものある事給ふの不分なる事
 並に軍部の不完全なる事を訴ふるものな
 事給ふの不完全なる事を訴ふるものな

郵便局所よ於て其預金の幾多又は全額の
 拂戻を請求することを得るものにして其
 方法は全部拂戻のときは通帳と共に携戻請
 求書を郵便局所に差出し又幾多拂戻のときは
 携戻請求書のみを郵便局所に差出すこと又
 は直接郵便貯金管理事務所又は同支所に携
 戻郵便にて送付し置くことは逆て管理所より
 携戻證書の送付あるべしつゝ其證書及び
 通帳(全部拂戻のもの)と通帳の
 代りに郵便局所より交付し受けたる携
 戻受取証書を携渡局所に送附し現金を
 受取るべし

●即時拂戻 預け入金爲拂戻を要する
 ときは現金となしたる郵便局所又は再度の
 通帳を受けたる郵便局所に於て一回三十圓

勸業館

梅が香にけつ戻りつ蘭の露
山隈み野霞み海も霞みけり
離れや手紙後より戻る馬子
米洗ふ人の美しはるもの水
霞かに霞に消へぬ馬子の唄
梅咲くや兵衛の時が門の跡
太平洋吹雪を驚かすむら
寒の海くわへ畑管の白帆風
水鳥や長閑な日にも立騒ぎ

俳句
手人
同
同
天
小
同
同
若

武勇の譽

第三回

本
社
刊
行
記
録

山一と今若人との處へ参つたものと今御身
の相貌を見るに餘には天下に其の名

今日より御身に相手をして出し出す
し皆な拙者の門人夫と立合はつしやいこ
てといひながら手を打つと松が五六丈
て来させたが昔な太刀で、山アブレに
るアノ若人と立合へどいふ木枝に手
かけて之を折つて得物とする重太郎
コイナ知如きものが万物の靈長たる人
に對して立合んなうとは惜ひ奴と自分も
頃の木枝を取りまじしてサアまいと身が
へる藤は之も同じく立向つた是より打合
なりまたしが情なる流を打てばうしろの
に打たれる流石の重太郎身体わたること
勢作で夫へ目付けされる笑ひながら見て居
した山伏が「山一ヤ今日日は一日よりチト
勤してゐる御前親の心配も如何又明日は參
れどもよい一體を返さして重太郎が戻つ
來たが疑念でたまらない又翌日往く相模
守野徳也」と立合ひに打ち戻りました
その内にも一貫の間に打ちたれるやうだ

-13-

前記の如き事柄に關連したれば尙同感歟に増して
其の爲めには、**日本郵船株式會社**なるものも
必要なり。又、**日本郵便株式會社**なるものも
必要なり。

▲郵便運送方法實施案　　鐵道以城川
茶山の差郵便局長が承問を食して京を鐵道に
依る郵便物運送方法につき諸考を所ありし
由は其實時の新聞に見へしが右は蓋し本は
より實施する事となり徑先内地より郵便便
物は午後三點發の列車で積込み居りしを午
前の四時に開更しなれば尙同感歟に増して

本組合は明治廿六年四月に設立し、新嘉坡
支店の發達を努め又出漁者の取給と納税を
目的とし日本政府よりは五ヶ年一萬圓陸
の保護金下付あり

貴物販賣者組合
本組合は明治廿七年に設立せられ輸出入
商品の仲立と鑑定とするものなり

雜貨買賣委託者組合
本組合は明治拾四年の設立にして雜貨因
も業經の買賣仲立を營業とするものなり

貨物輸出商組合
本組合は明治拾四年四月の設立にして移
山居住米販貿易商が海外に穀物類を輸出
すかに當て査査し多少の資金と組合に附立
たば何れかの間に幾分の利益を得るの方法

鐵道の東洋化云々　　間合　　西門十
四號門と云ふ在左、我國との貿易は多く
地に於て行はれ尋常古館に移り其後此等
居留地に轉じたためなりと云ふ其他諸種
山の流弊には實錄の税金負擔等行政費の
多し殊に發達の如く今日尙巨額無として
ひ過客をもて憂大關の經濟難航を患えそ

右館は我が天保十三年より寛文十二年に
至る迄現存地にて釜山嶺の南隣にありしか
數二百餘戸あり郡民若人等約七千餘に本
館二萬餘戸あり國政時勢と云ふも

[illegible]

ちも明らうに我に衝あり之れを誹ふか誰
 らんと思ふといへども本だ我が目ばかりひし
 しのなし御身なりせば術をゆづるも差支へ
 なし御身武藝の名人といはれるの所有なき
 今あれば我れ御身に抄術を傳ふべし重太郎
 手を突て重太郎唇にけらんし子とて突
 を武藝の上達を望まざらんや誰は紅教へ
 五へ如何なる艱難辛苦といへども更に難ひ
 申さず山一然の之の材を御身に授け我
 れを誹ふなり打ねし御身要を修得て至免
 ば天啓を敵するもの恐らけはあらずに

中興元年 若等右記

...

奇しき味とは

窓に凭れて見眺めて思ふにヒョイト来るは若
山兄友を障子と然も雨に濡れたる衣を揮ふ
て行かんや今日日は日曜平日の汽車旅行
「何にイ思ふ處、此大入りか」「武骨く」大と
もだから風流さ行かんとおなれは舞臺も「結
て」「白々ね何から」「何時とは惜ない今
後さ丁度雨も水降れ」仰げは膝つゝ飯料を
白くさすゝゝゝて空も霞らぬ景色ならに
とて急な應付さ

沼は横なぐり、命を斜面けて北渡を出發、坂
 上など風はこゝと過るなり、ハツと身を外
 に出、千載千載の下まに大崩れ、海中に生
 り、學などなげ、い、現けだ、然いまだ生
 しい、大の死體、オイ、君何だろ、と、顧れば
 山はず、さした人、人、人、死のてる死體
 今、なひ、死體か、さうした、一、人、した、も
 い、の、目、を、強、り、な、が、ら、海、面、か、し、り、な
 げ、は、一、目、の、し、り、な、氣、の、な、る、透、視、自、分
 吃驚する程、死體、腹、立、ち、を、觸、り、し、驚、いた
 頭、第、一、死、人、と、は

慈なし美人の纏綿
 様として先立ては支那町を過ぎて日暮折
 の町に入る「アア芳さんチヨイ」と聲の
 是はしたも、面妖な此所等あたりに依ふ聲
 は非難じかも小女の聲らしう勃とした顔
 けて振戻れば芳由兄顔をくづして「イ
 嬢子かニハ」何處へ行くの、自分は芳
 りたいや「僕と一所か威心」自分は勇
 りて何處の子か「犬の子ぢやない何
 づ」ウツ故は或る料理屋の子さ「自分は
 が、しげに」チ行か先立ては小女は
 由兄に纏綿てチ「ヨ、自分は目には手
 て微笑みて「慈なし美人の纏綿」

すかぬか酒に
胸にふもれし
一ツ二ツみ
云ふは野暮だよ
さだ／＼智慧の
兎角其の世は
角／＼世界も
暗い工場に、

天徳 打鼓
短亦らめて
不服の聲も
理屈をつけて
忸怩交雑も
不足が見える
九金の力も
〇この云はが
大盤出して

●大商店訪問記 (入)

岡山洋服服店(入江町)

岡山氏は波瀾仕息の人、私達の訪問に接
お尋ねくたさいはしに、明治の初めに
うな事も御座います。先づ洋服店として携
うな事も御座います。先づ洋服店として携
うな事も御座います。先づ洋服店として携

今、は果敢ない、
金儲めたら、
亦得て理習を、
言てやる

奴等とは云へど、
亦浮き上り、
言てやる

[illegible]

中、聲と和と寄るに、
宮崎酒店、同町。
退に御覧を教し候と云ふ事、今でも、強張の
告し、運卒の時間表を加へて、旅館等に配ら
れ、すて云々
タイ此町の海濱で、一向事情に慣じまされ
おます、ハ、只今は何うも、暇さこそ
す、殊に此南濱のかば、至つて静かです
正宗をいろう、やつて居りますが、難
う、福が、一番路路があるやうです
堀口、栄、雜貨店、同町。
果腹です、何時ものなので、未だ飽きま
が、雜貨の方は、別々です、凡て並頃は、小
玩具、杯が、面白く、賣行です云々

す。かゝる一現貨のブに有るもの
が夫れより店主は、先づ取引所の早晩香港に
送らるべきを大に好望として隨つて商賣のレ
ヤツア古著物の販路の狭くならんと訝られ
料は臨時客即ち船上の客の多きは指店の
幸福なりと語り仰れども耳を傾くべきものい
ふなから

運書靴物店

以上は山形縣人にして過行人の人也記者に

商店する人が澤山あるので自然競争の激に
 なり爲めに同業者何れも共に闘つて参りま
 す。普通のやうな時勢のものでないから毎日売
 り場があれど大きな商賣ではございませ
 ぬ云々
 徳田菓子店 辨天町
 拙者は眞に製造でございす、唯今晩間に
 銀行のある菓子では御座いますせんが矢張
 事業商品は竟く販路があります云々

〇人身攻撃に涉るなかれ
 〇百字以上を用ゐるなかれ
 〇廣告吹聴に用ゐるなかれ
 〇新聞社一行の來社記者に對する其趣旨や
 笑ひなど雖も其體裁の規定に脱せざるより
 勢められんと切望す(天下の志士) ▲牛乳
 豆乳との混攪方に就て多少の爭があつた
 がモロコシ豆乳のすか(牛肉ソーダ)▲時
 報は幾時々とその如く刊報は急に生れ
 月の一毎日は毎日の雨天下を空す如し(一)
 新聞通) ▲僕が釜山へ來て驚いたの市中に
 海濱法が行儀が馬水漬に松板の腹へな

本人の喜望地とい今はや新渡傳者▲
 今一つ驚いた下屋の物價の割合に素直に
 減法は高くて奇遇の歴米なのである少し
 減法しては如何同人▲僕は志想ある物
 結婚したいが誰れか月下氷人々々
 取る人はないか既婚生▲朝娘は教へ
 非常には不便だし清潔法と謂しては
 何登壇者

相 場
 上座櫻木拾夢園▲全一等十二圓
 八等銀▲地米中十二圓五錢▲中上米十
 八錢二錢▲中米十圓十錢▲上米十圓五
 錢▲上七圓四錢銀▲上六圓十錢▲上
 六圓▲大六圓○五錢▲小麥拾圓七
 十圓▲大六圓○四錢▲往了八圓八錢▲改良

謹告

諸君定て、謝儀を賜ふ。是處、前頭面、掛軸、金銀
器、茶碗、湯瓶等類、各位の御受領に、
別日に増し奉る。若し該段事成謝儀然の處
目下の時節に當り、所有之自今年月收入金
之内諸費を扣除し、餘額は是にて之を諸海軍機
務に獻じ、其位主の爲に報國濟世せんとす。
希くは各位生みの徳義を御察察被下多
少不拘に用命夜仰付度候。

西曆二丁日陳列第正南通村松田堂

特別大安賣
ぜつけん
此の外諸雜貨
三三三
石川勝治商店
印醬油
鳳凰
龍軍

清印
 勢印
 草印
 京東
 醬油
 右入荷候間御用仰付
 ラレ度願奉候
 醸造元千葉縣銚子港濱田儀兵衛
 水野商店

祖元油醬上最
 合指御號六第
 達用御省內宮
 上
 釜山西町三丁目
 廣田酒店
 會覽博大國萬易路華
 領受牌金譽名

東京香取屋聚
京阪最新流行
御履物切并
傘

其他步好小應
調進可任矣

韓國釜山并天町三丁目長手通り

권지동상

이 히

上等紙卷煙草

ERO

CIGARETTES

MANUFACTURED BY
MURAI BROS. CO., LTD.
TOKYO, JAPAN.

Push this end


 著名品葉新原械器
 入一出新直
 入南河寺堂安直攝第牌大
 店商田桑
 七四九東電
 色特、店本、強勉利梅
 一〇一〇一
 NO CIGARET
 店約特
 目下
 堂南海


 直輸
 金山本町
 大

酒名灘

博南權女

天寶時
秘年頃

清酒

大樽

入合六升四斗四樽大

清酒 從來北海道及ノ關

青海印

講スル所ナキハ當格者ノ認
識スル品實最妙ナルヲミ
不成性ニ寄リ得テ使用セ
バ其入量非常ニ多ク從
計算上價格相安也

青海印

弊店開業以來日夥發售ノ不拘日増數倍ニ趣
弊店アル一埠遠大有諸君ノ愛顧ニ起シテ
ハモノツラ深ク感謝ナレドモ他處販賣來
弊店ノ營業取扱付チハ已ニ難作仕成通商
ノ誠實信義ヲ以テ之ヲ要ヘ
不言實行ニ期スル爲メ敝店愛顧ノ創
多蒙ヲ貴士大方ノ諸君希ク一借當ノ受

日本帝國設止機關
 酒類賣場新開小賣
 一于販賣特許店

山本町國設止機關
 酒類賣場新開小賣
 一于販賣特許店

精養軒の牛乳
 滋養豊富
 破村牧場

牛乳
 破村牧場
 精養軒

林田信藏
 電話百六十七番

精養軒の牛乳ハ
精良無比

○東京日々新聞○報知新聞○大阪新報
朝鮮駐日新聞○大新聞
廣告印刷大勉強取手
大此方面一手特約販賣所
雜貨商

○(山) 朝日商會

○大阪朝日新聞○大坂毎日新聞○朝鮮
日新聞

○朝日新聞○報知新聞○大阪新報
朝鮮駐日新聞○大新聞
廣告印刷大勉強取手
大此方面一手特約販賣所
雜貨商

○(山) 朝日商會

○大阪朝日新聞○大坂毎日新聞○朝鮮
日新聞

小賣外埠物衣服吳
店支島福目丁一街通濱南山釜

勉 強 之 親 王

● 洋酒類 罐詰各種

● 濁酒・甘酒・みそ

● さけ・かす

● 北海産物直輸入

● 日用品及ヒ玩具類

来る参月一日より
一週間をいものい
たします

釜山港富平町

山西酒類醸造部

敷島 小賣

敷島 朝日

京成虎頭一號地
○薄在シテ契約起案民刑訴
等汎ク法律專斷專屬無異

東京辨士皆川廣濟

韓國製造販賣廣告

大日本政府特許ヲ受ケ高級ナル日本葉煙草ヲ輸
入シ多年相傳ノ技術ヲ以テ高尚優美ナル刻煙草及捲煙草
御購買者切趣強ク旨トシ誠實仕候ニ付多小ニ不

旭の煙草ノ一部
二十本入 定價金六錢
二十本入 定價金五錢
二十本入 定價金四錢

高角優美特製旭の文明各種
旭の煙紙入包紙入各種

其他紙巻煙草各種玉造ハ御注文に應ジ精製申上候

日韓煙草會

東洋烟草株式會社 御披露

三月一日開店

-138-